

歯肉ゲージ

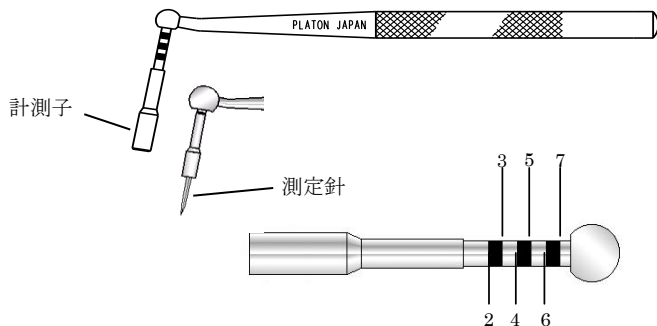
【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

- (1) 本品の加工・改造は行わないこと。[インプラント及び器具の破損や不適切な設置による術後成績不良が発生するおそれがある。]
- (2) 変形や破損した場合は使用しないこと。[インプラント及び器具の破損や不適切な設置による術後成績不良が発生するおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

- (1) 本品はプラトンシステムの専用器具である。
- (2) 材質はステンレス鋼である。



[測定針収納時先端部拡大図]

＜原理＞

手指にてハンドルを把持し、測定針を歯肉へ刺すことによってスリーブが針をスライドし、目盛によって歯肉の厚を確認する。

【使用目的又は効果】

本品は、術部歯肉の厚さの計測や、骨の形態を把握するために用いる器具である。尚、本品は再使用可能である。

【使用方法等】

- (1) 通法に基づき麻酔を行った後、測定針の先端をスリーブで隠した状態で、ゲージを計測部位の歯肉に直角に当てる。
- (2) 軽い力で歯肉を穿孔して測定針の先端が骨に接触するまで押し込む。
- (3) スリーブを動かさないように静かに測定針を引き抜き、スリーブの後端に表示される歯肉の厚さを読み取ります。又はスリーブの先に出ている測定針の長さをノギスで計測します。この操作は手指にて行う。

【使用上の注意】

- (1) 本品の使用に際しては、使用前に講習会に参加し、必要な知識と技術を確実に習得すること。また、必ずマニュアル等を参照の上で使用し、注意・指示事項に従うこと。
- (2) 本品の使用に際しては、血液の飛沫などによる人体への影響を避けるため、公的機関が認可した防塵マスク、保護メガネなどを着用すること。
- (3) 本品は、使用前に必ず口腔外にて、破損・曲がりなどの支障がないことを確認すること。

- (4) 本品は、針部が鋭いため、使用中に患者の術部以外の口腔内、顔面、術者の手指などを傷つけないように取扱いには充分注意すること。
- (5) 通法に従い、必ず滅菌を行うこと（オートクレーブ可）。
- (6) 術後は、使用、未使用にかかわらず所定の消毒・洗浄・滅菌を行うこと。
- (7) 器具の形態変更、改造などをしないこと。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- (1) 使用前に必ず洗浄・滅菌を行い、次回からの使用時にも同様にすること。
オートクレーブ可 121℃で20分間
- (2) 本品は、使用するまで常に滅菌後の汚染に注意し、手指・未滅菌の器具などで直接触れないこと。
- (3) 長時間、生理食塩水に漬けておきますと錆や変色の恐れがあります。
- (4) 骨質が薄い場所に強い力を加えると、測定針が骨内にも刺さり、入っていく可能性があるため、十分に注意すること。
- (5) 測定針は細いため、曲がりに注意すること。
- (6) 検査部位には必ず麻酔を行って下さい。

【保管方法及び有効期間等】

- (1) 本品は、汚染及び錆を防ぐため、清潔で湿度が高くない場所にて保管・管理すること。
- (2) 錆びるおそれがあるため水分が付着したまま保管しないこと。
- (3) 本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【保守・点検に係る事項】

- ** (1) 本品の消毒用薬液は、防錆効果を付与した次のものを推奨する。その際、使用法は各溶液の指示に従うこと。
- ・グルタラル製剤
 - ・グルコン酸クロロヘキシジン
 - ・陽イオン界面活性剤系薬液（塩化ベンゼトニウム液、塩化ベンザルコニウム液）
- ** (2) 次の成分を含む消毒液は使用しないこと。
- ・塩素系薬液（次亜塩素酸ナトリウム等）
 - ・過酸化水素系薬液（オキシドール等）
 - ・強酸性水
- (3) 乾熱滅菌は、高温になり劣化の原因になるので使用しないこと。
 - (4) 錆びた製品は、汚染を引き起こす可能性があるため、錆びていない製品と一緒に滅菌しないこと。
 - (5) 滅菌後は錆がないか点検し、錆が認められた場合には、新しいものと交換すること。
 - (6) 錆びるおそれがあるため次のことについて留意すること。
 - ・血液・骨が凝固付着したまま乾燥させないこと。使用中、使用後の製品は血液などの凝固を防ぐ為、直ちに拭き取るか生理食塩水入りのフリーズドライシャーレに入れて下さい。
 - ・最終洗浄は精製水を使用すること。
 - ・湿度が高くて自然乾燥に時間を要する場合には、ドライヤーなどで強制的に乾燥させること。
 - ・汚れ、水分、洗浄剤などが付着したまま滅菌しないこと。
 - ・オートクレーブ滅菌の場合、精製水を用い、水道水は使用しないこと。

- (7) 本品使用後は、すぐに消毒用薬液（上記(1), (2)参照）又は消毒効果及び防錆効果のある洗浄剤に浸せきし、その後、超音波洗浄器、ブラシなどを用いて洗浄し、付着物を完全に除去すること。
- (8) 金属たわし、クレンザー（磨き粉）などは、器具の表面が損傷するので、汚物除去および洗浄時に使用しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1. 製造販売元
株式会社デンテック
〒174-0053 東京都板橋区清水町 53 番 5 号
TEL：03-3964-2011
FAX：03-3962-5624
2. 販売元
株式会社プラトンジャパン
〒195-0062
東京都町田市大蔵町 56 番地 鶴川アカデメイアビル
TEL：042-734-8088
FAX：042-737-6708